

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成26年4月1日現在）

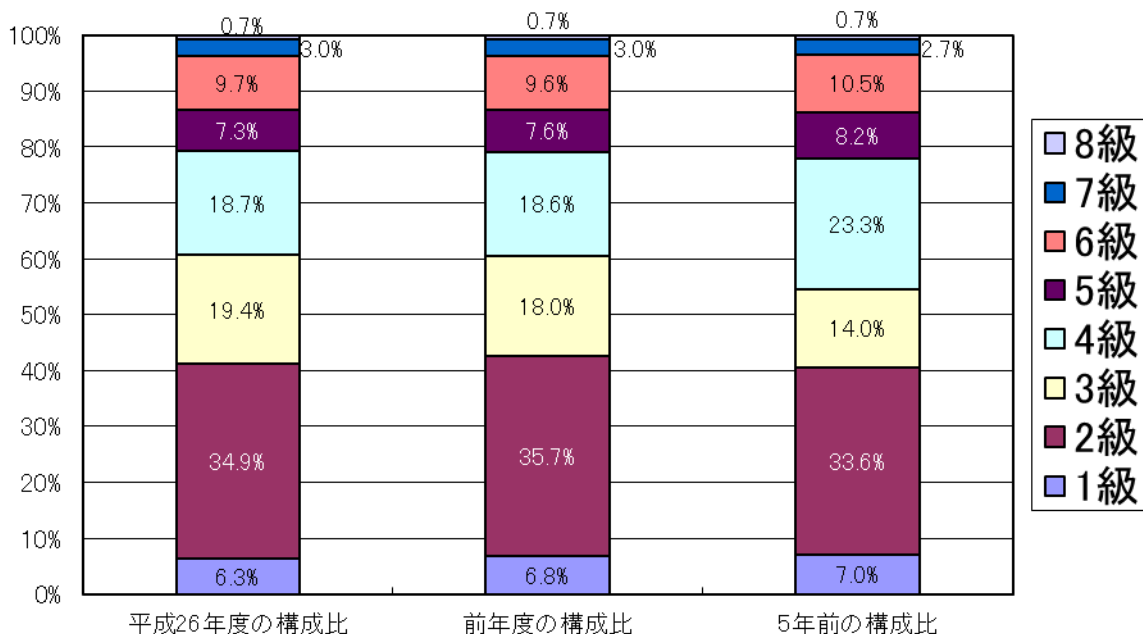
職員の給料はそれぞれの職種に応じた給料表によって決められています。また、給料表には職務内容や責任の度合いに応じた級と号給が設けられています。一般行政職を例に職員の級別の構成を示すと、次のとおりです。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	職員	306人	6.3%	137,700円	247,300円
2級	高度職員	1,702人	34.9%	152,600円	339,700円
3級	主任	951人	17.4%	231,400円	397,300円
4級	係長	911人	18.7%	262,200円	422,600円
5級	課長補佐	357人	7.3%	312,200円	450,600円
6級	課長	472人	9.7%	351,800円	475,000円
7級	部長	145人	3.0%	384,600円	511,500円
8級	局長	36人	0.7%	423,100円	561,500円

(注1) 川崎市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

(注2) 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務のことです。

(注3) 一般行政職とは、行政職給料表(1)適用職員のうち福祉・税務関係の職員を除いたものです。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成18年度から、地方公務員法第40条第1項に基づき、4月1日から翌年の3月31日までの1年間を評価期間として、全職員（一部の派遣職員等を除く。）に対し、業績・能力を重視した人事評価を実施しています。この評価結果を、管理職から段階的に、昇給へ反映させることとしました。平成26年度の評価結果は、平成27年度の昇給（昇給日は4月1日）に反映されます。